

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

766

非核平和都市宣言等事業

[長期総合計画]

分野別目標	5	その他
政策	2	多様な主体による協働・連携の推進
施策	1	市民協働の推進
取組方針	1	市民協働の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		市民生活総務費	
	大事業		市民生活事業	
	中事業		非核平和都市宣言等事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市民自治振興課	建島 彩美 435-1045
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	広島平和バス等の各種啓発活動を行うことにより、非核平和への理解と認識の向上を図る。		非核平和都市宣言に伴う事業の実施(広島平和バス等の各種啓発活動を行うことにより、非核平和の意識向上を図る。) 世界連邦宣言自治体に関する事務			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	・「原爆写真展」の開催 ・「家族で平和を考える親子映画会」の開催	・「原爆写真展」の開催 ・「家族で平和を考える親子映画会」の開催 ・「被爆体験伝承講話」の開催	・「広島平和バス」の実施・ 「原爆写真展」の開催 ・「家族で平和を考える親子映画会」の開催 ・「被爆体験伝承講話」の開催	・「広島平和バス」の実施・ 「原爆写真展」の開催 ・「家族で平和を考える親子映画会」の開催 ・「被爆体験伝承講話」の開催	・「広島平和バス」の実施・ 「原爆写真展」の開催 ・「家族で平和を考える親子映画会」の開催 ・「被爆体験伝承講話」の開催	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,172	55	1,172	55	1,202	945	1,341	0	1,341	0
伸び率(%)	△1.6%	△31.2%	0%	0%	2.6%	1,618.2%	11.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	311	311	2,258	390	1,808	315	4,243	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	52	512	859	0	0
	小計	311	311	2,258	390	1,860	827	5,102	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	414	0	414	0	414	207	460	0	0	0
一般財源(税等)	758	55	758	55	788	738	881	0	1,341	0
所要人数(人)	正規職員	0.04	0.04	0.29	0.05	0.23	0.04	0.54	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.10	0.38	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料1,256千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	「広島平和バス」募集用チラシの配布(大学)	枚	目標値	3	7	7	7	7
			実績値	3	7	7		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	「家族で平和を考える親子映画会」のポスター掲示(市立小学校)	枚	目標値	52	52	52	52	52
			実績値	52	52	52		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	広島平和バス参加者数	人	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	0	0	13		
			達成度(%)	0%	0%	54%	%	%
	「家族で平和を考える親子映画会」	人	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	6	6	14		
			達成度(%)	20%	20%	47%	%	%
	「被爆体験伝承講話」	人	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	6	19	19		
			達成度(%)	20%	63%	63%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	社会情勢に合わせた対応を行っているため。
見直し・改善内容	令和5年度は、4年ぶりに「広島平和バス」を実施することができ、また、「被爆体験伝承講話」及び「家族で平和を考える親子映画会」を予定どおり開催できたが、今後どちらも参加者をさらに増やしていきたい。